授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　エコ・コミュニケーション科）2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実技・実習	校内	校外	専任	兼任	
○			エコロジー概論	動物や自然環境を学ぶ上で、人間と動物を取り巻く環境について考えていきます。	1通年	30	2	○			○			○	
○			アニマルベーシック	様々な動物に関する仕事を学びます。	1通年	60	4	○			○			○	
○			アニマルヘルスケア	動物の健康に関わる食餌・栄養管理や疾病、その対処法について学びます。	1通年	30	2	○			○			○	
○			基礎獣医学（解剖・生理）	動物の体のしくみ・構造・機能などの解剖学と生理学について学びます。	1通年	60	4	○			○			○	
○			英会話	海外実学研修で必要となる外国の方とコミュニケーションを図るため必要な英語を学びます。	1通年	60	4	○			○			○	
○			IT（Informaitions Technoiogy）	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1通年	60	4	○			○			○	
○			ビジネスマナー	コミュニケーション能力、社会人としてのマナー、一般教養・人前での話し方など就職に関する身構え・気構え・心構えについて学びます。	1・2通年	120	8	○			○			○	
	○		公衆衛生・関連法規	衛生の概論、ズーノーシスなどの感染症の原因を理解し、衛生管理について学びます。また動物に関する法律・保護管理法などの法規を学びます。	1・2通年	120	8	○			○			○	
	○		トリミングⅠ	動物のグルーミング・トリミングについて学び、また美容部分における技術を実践します。	1通年	120	8	△	○		○			○	
	○		トリミングⅡ	動物のグルーミング・トリミングについて学び、また美容部分における技術を実践します。	1・2通年	120	8	△	○		○			○	
	○		飼育概論Ⅰ	飼養管理の基礎的な知識を身につけ、理解し実践する。	1通年	120	8		○		○	△		○	
	○		飼育概論Ⅱ	動物を飼育・管理していく上で必要な知識・技術を学び、説明や適切な管理方法を学びます。	2通年	120	8		○		○	△		○	
	○		動物看護Ⅰ	動物の保定方法や一般検査など、動物看護学について学びます。	1通年	120	8	○	△		○			○	
	○		動物看護Ⅱ	動物の保定方法、一般検査など、動物看護学について学びます。	2通年	120	8	○	△		○			○	
	○		動物行動学	動物の行動学について学び、しつけ・調教に必要な知識・技術を身につけます。	1・2通年	120	8	○	△		○			○	
	○		海洋・水生生物Ⅰ	海洋瀬物・水生生物の進化、分類、生理、生態などについて学びます。	1通年	120	8	○	△		○			○	
	○		海洋・水生生物Ⅱ	海洋瀬物・水生生物の進化、分類、生理、生態などについて学びます。	2通年	120	8	○	△		○			○	
○			飼育飼養管理	動物の飼育管理、飼育員の仕事について学びます	1・2通年	120	8	△	○		○			○	
	○		ウォーターエクササイズⅠ	プールで泳力トレーニングを実施し、体力向上ならびにダイビングライセンス取得に必要な技術を身につけます。	1通年	120	8		○			○		○	
	○		ウォーターエクササイズⅡ	プールで泳力トレーニングを実施し、体力向上ならびにダイビングライセンス取得に必要な技術を身につけます。	2通年	120	8		○			○		○	
○			進級制作	基本的な文章の書き方を学び、進級時に研究制作のため、論文を作成し、プレゼンテーションします。	1通年	120	8		○		○			○	
○			企業研修Ⅰ	現場で実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	1通年	30	2		○		○			○	
○			企業研修Ⅱ	現場で実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	2通年	60	4		○			○		○	
○			卒業制作	社会人として必要な文章の作成を学び、卒業研究の論文を作成し、プレゼンテーションします。	2通年	120	8		○		○			○	
合計				23科目											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　動物医療科）2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎動物学Ⅰ	動物学の基礎となる生命維持の仕組みを学び、病的変化について学びます。 又、生命倫理の考え方動物愛護についても学びます。	1 通年	210	14	○			○			○	
○			基礎動物学Ⅱ	繁殖に関わる形態と機能を学び遺伝学の基礎知識を修得する。犬猫の行動学・栄養学から給餌・療法食の特徴を学びます。	2 通年	120	8	○			○		○	○	
○			基礎動物学Ⅲ	動物の種類や特性を学び、野生動物の保全、動物園の展示個体管理について学びます。	3 通年	90	6	○			○			○	
○			基礎動物看護学Ⅰ	微生物や寄生虫の分類など基礎を学び、感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。	1 通年	120	8	○			○		○	○	
○			基礎動物看護学Ⅱ	病気が組織や臓器にもたらす変化を学び病態について理解する。また薬物の作用・臨床応用及び副作用について学ぶ。	2 通年	150	10	○			○		○	○	
○			臨床動物看護学Ⅰ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、診断に必要ば検査、所見記録について理解する。	1 通年	180	12	○			○		○	○	
○			臨床動物看護学Ⅱ	動物看護過程の一連のプロセスを理解し、臨床検査の原理や方法、意義を理解する。	2 通年	150	10	○			○		○	○	
○			臨床動物看護学Ⅲ	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	3 通年	240	16	○			○		○	○	
○			愛護・適正飼養学Ⅰ	愛玩動物の歴史や品種、適正な飼養管理方法について理解する。	1 通年	90	6	○			○			○	
○			愛護・適正飼養学Ⅱ	適正飼養の推進活動、災害時の危機管理の在り方、動物愛護管理行政の仕組みを学ぶ。	2 通年	90	6	○			○		○	○	
○			愛護・適正飼養学Ⅲ	人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。また、動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。	3 通年	60	4	○			○		○	○	
○			実習Ⅰ	内科看護学で学んだ知識を実践的に修得する。	1 通年	150	10		○			○	○	○	
○			実習Ⅱ	臨床検査学で学んだ知識を実践的に修得する。	2 通年	330	22		○			○	○	○	
○			実習Ⅲ	外科看護学で学んだ知識を実践的に修得する。	3 通年	210	14		○			○	○	○	
○			キャリアマネジメントⅠ	一般教養やビジネスマナーなど。社会人としての基礎力を身に付ける。	1 通年	90	6	○			○		○		
○			キャリアマネジメントⅡ	動物愛護の先進国における、動物看護の技術や知識を学び、知識の幅を広げます。	2 通年	30	2	○			○		○		
○			キャリアマネジメントⅢ	マネジメント要素を包括的に学び、実践しキャリア形成を繋げます。	3 通年	60	4	○			○			○	
○			IT (Informaitions Technology)	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1 通年	60	4		○		○			○	
○			進級制作	基本的な文章の書き方を学び、進級時に研究制作のため、論文を作成し、プレゼンテーションします。	2 通年	30	2		○		○		○		
○			国家試験対策	愛玩動物看護師免許取得に向けて試験対策を学びます。	3 通年	120	8	○			○		○	○	
○			卒業制作	社会人として必要な文章の作成を学び、卒業研究の論文を作成し、プレゼンテーションします。	3 通年	120	8		○		○		○		
合計				21科目											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　エコ・コミュニケーション科）2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法				場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習・実技・実習		校内	校外	専任	兼任	
○			グローバルⅠ	日常英会話を中心とし基礎となる英語力、表現力を身につけます。	1通年	60	4	△	○			○			○	
○			グローバルⅡ	国際性を高め、日常英会話を中心とした英語力、表現力を身につけます。	2通年	60	4	△	○			○			○	
○			グローバルⅢ	海外留学に向けた専門の英語力、表現力を身につけます。	3通年	30	2	△	○			○			○	
○			グローバルⅣ	国際性を高める学習の一環として取り組み、主に日常英会話を中心とした英語力、表現力を身につけます。	4通年	60	4	△	○			○			○	
○			アニマルBIーシックス	動物を学ぶうえで基礎となる細胞、遺伝子、体の機能、構造を学びその知識を、飼育管理・病気の予防に活用できるようになる。	1通年	180	12	○	△			○			○	
○			飼育演習Ⅰ	校内外の動物施設（主に動物園）で実際の飼育管理や施設管理について学び、現場で必要とされる考え方を理解します。	1通年	120	8		○			○			○	
○			飼育演習Ⅱ	校内外の動物施設（主に水族館）で実際の飼育管理や施設管理について学び、現場で必要とされる考え方を理解します。	2通年	120	8		○			○			○	
○			陸上動物Ⅰ	陸上動物の分類・生態・形態を学ぶとともに、それらを飼育管理する上で必要な知識を学び、生物への理解を深めます。	1通年	60	4	○				○			○	
○			陸上動物Ⅱ	家畜動物の生理・生態・飼料など、飼育管理に必要な知識と酪農業について学び、業界への理解を深めます。	2通年	180	12	○	△			○	△		○	
○			海洋・水生生物	水生生物を学び、飼育管理に必要な知識を学び理解を深めます。鯨類を中心に海洋哺乳類の分類、行動、生態の基礎を学び、生物への理解を深めます。	1通年	120	8	○	△			○	△		○	
○			動物看護Ⅰ	飼育動物のQOL向上をテーマに、行動分析やトレーニング、環境エンリッチメントについて学び、施設管理や設備計画に必要な観点を身につけます。	1通年	60	4	○				○			○	
○			動物看護Ⅱ	動物の雌雄の違いや、繁殖メカニズム、遺伝などについて学び、主に飼育下における種の保存を学びます。	2通年	30	2	○				○			○	
○			動物看護Ⅲ	検体検査および生体検査に必要な手法や機器の扱いなど、動物臨床検査に関する知識・技術を習得し、動物医療の現場に対する理解を深める。	3通年	30	2		○			○			○	
○			動物園・水族館研究	動物園・水族館の歴史・役割・業務内容について学び、これからの動物園・水族館について考えます。	1通年	60	4	○				○	△		○	
○			マネジメントⅠ	動物園・水族館をはじめとした動物施設の運営に必要な知識について学び、組織で動くためのコミュニケーションを身につけます。	1通年	60	4	○				○			○	
○			マネジメントⅡ	プロジェクトの企画立案の方法について実践的に学び、実際に企業と連携して活動します。	2通年	240	16		○			○			○	
○			マネジメントⅢ	企業プロジェクトを通して、動物関連施設の運営方法について学び、自ら発言および活動することができる。	3通年	180	12		○			○	△		○	
○			マネジメントⅣ	企業経営や組織運営に潜むリスクを知り、その対処方法について学び、現場に必要なルールや仕組みを考えます。	4通年	480	32	△	○			○	△		○	
○			ITⅠ（Information Technology）	ビジネスで活用できるWord/Excel/パワーポイントのスキルに加え、AI技術に関する知識も身につけます。	1通年	60	4		○			○			○	
○			ITⅡ（Information Technology）	ビジネスで活用できるWord/Excel/パワーポイントの技術を高め、さらにAI技術に関する知識を深めます。	2通年	30	2		○			○			○	
○			ITⅢ（Information Technology）	デジタルコンテンツの制作や演出の方法を学び、その活用方法を学びます。	4通年	60	4		○			○			○	
○			公衆衛生・關連法規	人間と動物に関する法律を学びます。また人間と自然を結びつけるための方法を学び、持続可能なより良い社会づくりに貢できるようになる。	2通年	120	8	○	△			○			○	
○			キャリアⅠ	担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを学ぶことができる。また、学校イベントを企画する。	1通年	60	4		○			○	△		○	
○			キャリアⅡ	業界研修や海外留学に向けたグローバルな社会人としての一般常識を身につけることができる。また、学校イベントを企画する。	2通年	60	4		○			○	△		○	
○			キャリアⅢ	業界研修や海外留学を通して身につけた経験を情報共有し、プレゼンテーション力の向上と業界への知見を広めます。	3通年	30	2		○			○	△		○	
○			キャリアⅣ	将来の仕事における自分自身のキャリア設計について考えられるようになり、キャリア設計に沿った就職対策を学びます。	4通年	60	4		○			○	△		○	
○			ビジネスマナーⅠ	顧客満足のために必要なホスピタリティの重要性について学び、必要なスキルとマインドを身につけます。	1通年	60	4		○			○			○	
○			ビジネスマナーⅡ	社会人としての心構えやコミュニケーション力などビジネスをする上で必要なスキルを身につけます。	2通年	60	4	○				○			○	
	○		留学	海外での実践的な研修により、さらに専門的な国際性・語学力を身につけます。	3通年	450	30		○				○		○	
	○		業界研究	業界現場である各種施設で、実際の仕事を体験し、自己研鑽の場とすると共に、就職活動に役立てます。	3通年	450	30		○				○		○	
○			進級制作	基本的な文章の書き方を学び、進級時に研究制作のため、論文を作成し、プレゼンテーションをします。	3通年	120	8		○			○			○	
○			企業研修Ⅰ	現場で実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	3通年	60	4	△	○			○	△		○	
○			企業研修Ⅱ	現場で実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	4通年	120	8		○				○		○	
○			卒業制作	社会人として必要な文章の作成を学び、卒業研究の論文を作成し、プレゼンテーションをします。	4通年	120	8		○			○			○	
合計				23科目												

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。